

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

★第二回東アジア日本研究者協議会国際会議での発表時



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) Galsanjimed Enkhzul
所属 (School) 大阪府立大学人間社会学研究科
学年 (Grade) 後期博士課程 1年
留学先 (Name of overseas institution)
南開大学
留学期間 (study abroad period)
2017年10月27日～10月29日
記入日 (Date) 2017年11月7日

留学レポート Study Abroad Report

2017年10月27日～29日の日程で中国の天津で開催された第二回東アジア日本研究者協議会国際学術大会に参加し、10月28日の次世代パネル<女性教育・就職就労>をパネル主題とした、「モンゴル国における日系企業の人事制度に関する事例研究～女性の働き方を中心に～」というテーマで発表しました。10月29日の午後、学会終了後、開催校である南開大学東アジア研究センター日本研究院の主任王凱教授のご厚意により、研究室を訪問させていただき、相互の研究交流の機会を持つことができました。

まず、王凱教授に南開大学の概要のご説明とキャンパスのご案内をいただき、東アジア研究センター日本研究院にご引率いただきました。そして、研究室にて名刺交換の後、まず本学の伊田教授から



南開大学東アジア文化研究センター前にて



本学伊田教授から女性学研究センターの資料を贈呈

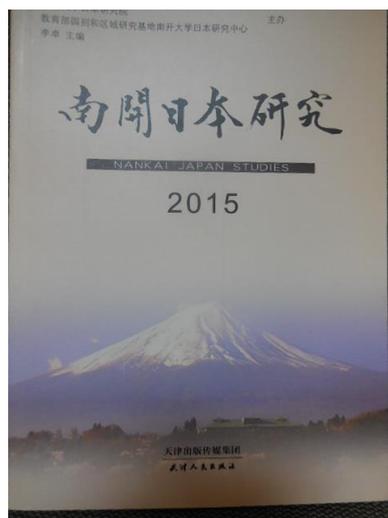


王凱教授の研究室を訪問し交流ミーティング

女性学研究センターの各種資料をお渡し、関西におけるジェンダー研究の拠点として活動していることをお伝えしました。王凱教授からは南開大学東アジア文化センター日本研究院の資料をいただき、共同研究を大阪府立大学とできることも言って頂き、私達も共同研究ができることを話し合いました。

最後に、飛行機の時間の都合で、タクシーでホテルに戻る時に南開大学の日本研究院の博士 2 年生の曹亜坤さんがホテルまで送ってくれたので、学生との交流もできました。彼女は、来年の 4 月から中央大学に交換留学で来ることになっていて、日本に来た時にぜひお会いできるようにと名刺交換もしました。彼女の話によると、「彼女は南開大学の寮に住んでおり、学生みんなが大学の寮で暮らしている。そして、奨学金も 2000 元もらえていて、生活にも十分足りる。また、学生時代の間には、必ず日本に交換留学ができるという制度がある」という。そこで私は、本当に学ぶ環境が整っている大学だなと思いました。

私にとって、初めての国際学会での発表と初めての大学の学生や先生方との交流であったため、とても緊張していました。しかし、このように、様々な先生方や学生方に会い、今後の研究の進め方で得に、共同研究という新しい形にできるという機会を見ることができたのでとてもうれしいです。これからも他の大学や学生と交流をしたいと思います。



交流の記念に本学へ贈呈された刊行物